

事務事業実績測定調書

R5調書番号 237

事務事業名称	中学校体育連盟補助事業												
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部			課	教育指導課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称	中学校体育連盟補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立中学校運動クラブに在籍する生徒			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	中学校体育連盟に補助金交付しなければ各種大会への参加に支障来たす。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各種大会に支障なく参加できる状態				
事業概要	枚方市中学校体育連盟に対して補助を行うことにより、中学校の部活動の振興・充実を図り、生徒の責任感・連帯感を育む。 ◆枚方市中学校体育連盟は北河内地区中学校体育連盟と大阪中学校体育連盟に加盟しており、すべての中学校の各部が公式試合に参加できるよう、連盟加盟金を補助する。 ◆16種目の専門部ごとに開催する市内の公式試合へ参加 ◆全国中学校体育連盟主催の総合体育大会につながる公式試合へ参加				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）								
		中学校の部活動の振興・充実につながる。				実力に応じた上位の公式試合に参加する機会が増える。				枚方市中学校体育連盟に対して補助金の支援をすることにより、市内の公式試合が開催され、上位成績者は北河内や大阪府の公式試合へ参加できる。								
指標設定	指標説明		全生徒数に対する運動部所属の生徒の割合 【算出式:運動部所属の中学生数／全中学生数＊100】				上位大会への出場大会数				市等公式大会開催回数							
			単位		%				単位		回				単位		回	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5				
		目標 （見込み）	70	70	70	70	5	5	5	5	38	38	38	38				
		実績	68	69	70	65	3	15	4	3	29	39	42	42				
達成度		93%				60%				111%								

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.02
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	79	78	158		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	79	78	158		
歳入	物件費計	1,314	1,317	1,319	1,370	96.3%
	歳出計	1,393	1,395	1,477		
	歳入計 (物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源 (物件費に充当されるもの)		1,314	1,317	1,319	1,370	

5. 総括的分析

総括的分析	各種競技の公式大会が開催され、本市生徒の活躍があったことや運動部所属の生徒も相当数あること等から、当該補助金は大会開催等、部活動運営に果たす役割は大きく、不可欠なものである。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も生徒の大会参加の機会を保障するため、本事業を継続する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 242

事務事業名称	部活動等遠征費補助事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部			課	教育指導課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称	部活動等遠征費補助金			サンセット	2023(R5)年度 ～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	全国大会及び近畿大会等の対外試合に出場する生徒			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	全国大会や近畿大会等の対外試合への参加に係る宿泊費用等が生じる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	中学校部活動の振興及び広く市民の意識高揚等に資する状態				
事業概要	全国大会及び近畿大会等の対外試合に出場する生徒の遠征に係る費用に対して部活動遠征費を補助することにより、部活動の振興・充実を図り、生徒の責任感・連帯感を育み、中学校の部活動を助成する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		選手は交通費及び宿泊費の補助を受けることで、全国大会及び近畿大会等の対外試合に出場できる。	申請に対し、内容確認のうえ、適切に交付する。	遠方で開催される全国大会や近畿大会等の対外試合に出場する生徒の遠征に係る交通費・宿泊費に対して、補助の申請を受け付ける。
指標設定	指標説明	補助金を受けて大会出場した生徒の人数	補助金交付対象生徒人数	補助金申請校数
		単位 人	単位 人	単位 校
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	90 45 45 45	45 45 45 45	5 5 5 5
	実績	4 66 81 86	4 67 82 86	3 8 9 13
達成度		191%	191%	260%

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.12
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	471	937	947		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	471	937	947		
	物件費計	1,887	1,210	1,352	1,500	90.1%
歳出計		2,358	2,147	2,299		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,887	1,210	1,352	1,500	

5. 総括的分析

総括的分析	補助金交付に係る適正な事務執行により、部活動の振興・充実に寄与している。
-------	--------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	当該補助金制度は部活動の振興、充実につながるものであるが、制度の在り方については検討を進めていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 397

事務事業名称	英語教育推進事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部			課	教育指導課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち									
	実行計画名	16-1.自ら考え生きる力と学力を育む教育の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006 (H18) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立小中学校に在籍する児童・生徒			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	英語が苦手であることを端緒として、外国人と交流できない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	英語によるコミュニケーション能力の向上及び国際性を身に付けた人材の輩出された状態				
事業概要	子どもたちの英語によるコミュニケーション能力の育成を図り、小・中学校の英語教育を推進するため、小・中学校間で連携しながら、外国人英語教育指導助手(NET)や日本人英語教育指導助手(JTE)を配置する。全中学校に各校1人の外国人英語教育指導助手(NET)、全小学校に日本人英語教育指導助手(JTE)を配置し、「読む」「書く」「聞く」「話す」力をバランスよく育む授業の実践と、児童・生徒の英語学習への意欲を高める取り組みを実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		児童・生徒の英語への苦手意識が解消され、英語への意欲や異文化を理解しようとする資質が向上する。				園児・児童・生徒が授業を通じて外国人との交流を行う。				小・中学校に外国人英語教育指導助手(NET)を配置し、授業を行う。			
指標設定	指標説明	児童・生徒アンケートにおいて肯定的な評価(「外国の人と話したり、接したりしたいと思う」)の割合【算出式: 肯定的回答／回答者総数＊100】				NETの年間授業時間数				NETの配置日数			
		単位		%		単位		時間		単位		日	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	69	72	75	80	1,520	2,280	2,500	2,500	4,368	4,576	4,576	4,576
	実績	71	73	76	95	17,784	19,575	18,774	18,702	3,952	4,350	4,172	4,142
達成度	119%				748%				91%				

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
		児童・生徒の英語への苦手意識が解消され、英語への意欲や異文化を理解しようとする資質が向上する。				児童が授業を通じて英語を使用する機会が増える。				小学校に日本人英語教育指導助手(JTE)を配置し、授業を行う。					
指標設定②	指標説明		児童・生徒アンケートにおいて肯定的な評価(「外国の人と話したり、接したりしたいと思う」)の割合【算出式: 肯定的回答／回答者総数*100】				JTEによる授業のコマ数				JTE活動延べ日数				
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績		69	72	75	80	19,296	19,296	19,296	19,296	4,288	4,288	4,288	4,288
				71	73	76	95	17,671	16,317	17,199	17,019	3,927	3,626	3,822	3,782
	達成度		119%				88%				88%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.79
再任用	0.00
任期付職員	3.00
会計年度任用職員	31.64
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	21,721	18,699	20,580		
	会計年度任用職員	134,321	130,059	138,419		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	156,042	148,758	158,999		
	物件費計	15,385	14,588	16,688	17,012	98.1%
歳出計		171,427	163,346	175,687		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源(物件費に充当されるもの)		15,385	14,588	16,688	17,012	

5. 総括的分析

総括的分析	全小学校にJTE又は外国語専科教員、全中学校にNET、小学校を巡回するNET-Eを1名配置し、「外国の人と話したり、接したりしたいと思う」の肯定的な回答の割合は目標値を上回っている。しかし、JTE・NETともに欠員が生じているために、JTE・NETによる授業のコマ数及び、JTE・NETの活動延べ日数は、目標値を下回っており、人材の安定的な確保が課題である。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	人材確保のための広報の充実と、研修などを充実させ、人材育成に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 398

事務事業名称	読書活動推進事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部			課	教育指導課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち								
	実行計画名		16-1.自ら考え生きる力と学力を育む教育の推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	学校図書館教育事業計画書、学校図書館法、学習指導要領等				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立小中学校に在籍する児童・生徒			
	サブターゲット	枚方市立小中学校に勤務する教職員			
	ターゲットが抱える課題	読書に対する興味が持てない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	読書により言語能力及び幅広い知識等を習得した人材の輩出された状態				
事業概要	子どもたちの読書活動を推進し、授業において問題解決や探究活動に取り組む力を育むため、市内の小中学校に学校司書を配置し、市立図書館と連携しながら学校図書館の有効活用に取り組む。 読書活動を推進し、児童・生徒の言語能力を育むため、全中学校区を実践研究校区として学校司書を配置するとともに、司書教諭と連携しながら、義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		児童・生徒の読書への苦手意識が 解消され、読書活動への意欲が高 まる。				児童・生徒が学校図書館を活用す る機会が増える。				小中学校に学校司書を配置し、学 校図書館を授業に活用する。				
指標設定	指標説明	読書が好きな児童・生徒の割合 【算出式:「読書が好き」と答えた児 童・生徒／アンケート回答児童・生 徒数×100】				授業等で調べ物をする時、学校図 書館で調べる児童・生徒の割合 【算出式:「授業等で調べ物をする 時、学校図書館で調べる」と答えた 児童・生徒数／アンケート回答児 童・生徒数×100】				授業に学校図書館を活用した回 数				
		単位		%		単位		%		単位		回		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	小80,中66	小82,中68	小84,中70	小85,中72	38	40	42	45	2,150	3,350	4,450	5,750
		実績	0	0	小72.6,中67.3	小68.5,中62.3	27.80	42	0	0	1,734	6,838	10,502	10,078
	達成度	小80.6%,中86.5%				0%				175%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.47
再任用	0.00
任期付職員	17.60
会計年度任用職員	2.40
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	83,188	80,176	87,856		
	会計年度任用職員	6,747	6,791	7,426		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	89,935	86,967	95,282		
	物件費計	97	137	147	298	49.3%
歳出計		90,032	87,104	95,429		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		97	137	147	298	

5. 総括的分析

総括的分析	授業に学校図書館を活用した回数については、令和4年度に、学校司書配置小学校の数を12校から20校へと増加させ、令和5年度においても継続配置を行っているため、一定数を保っている。 各アンケート結果において、該当するアンケートが全国学力・学習状況調査、児童・生徒質問紙調査において、項目が削除されていたものは、「0」と記載している。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	読書活動の確立や情報活用能力の育成には、長期的かつ計画的な取組みを推進・充実させることが必要であるため、引き続き、学校司書配置校の拡充を進める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 399

事務事業名称	学力向上推進事業(放課後自習教室事業)										
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部			課	教育指導課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち									
	実行計画名	16-1.自ら考え生きる力と学力を育む教育の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2007 (H19) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立小中学校に在籍する児童・生徒			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	学習意欲が低く、学業成績が振るわない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	学習意欲が高まることにより自学自習力が身に付き、学業成績が向上した状態				
事業概要	児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、基礎学力の向上を図るため、民間委託等を活用した放課後自習教室や放課後学習教室を実施し、学習機会の充実を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		児童・生徒の基礎学力の向上が図られ、自学自習力が身に付くことで、学習意欲の高まりにつながる。				児童・生徒が参加し、各自の理解度に応じて学習を行う。				放課後自習教室等を実施する。				
指標設定	指標説明	利用率 【算出式:参加児童・生徒数／登録者＊100】				放課後自習教室等の参加人数				放課後自習教室等の実施回数				
		単位	%	単位	人	単位	回							
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	60	70	80	90	1,500	1,500	1,500	1,500	2,670	1,669	1,645	1,645
		実績	86	73	65	66	1,601	2,077	1,827	402	1,669	1,657	1,689	513
達成度		73%				27%				31%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.35
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,464	7,421	2,763		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,464	7,421	2,763		
歳入	物件費計	57,907	60,235	39,750	39,750	100.0%
	歳出計	65,371	67,656	42,513		
	国庫支出金	21,549	12,843	18,110	12,919	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
歳入	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
歳入	歳入計（物件費に充当される特定財源）	21,549	12,843	18,110	12,919	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	36,358	47,392	21,640	26,831	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度から小学生対象の放課後自習教室を総合型放課後事業(放課後オープンスクエア)に整理統合し、中学生対象の放課後学習教室を継続実施した。 指標の達成度については想定より低かったが、登録者数及び参加生徒数は増加しており、より多くの生徒に学習機会を提供することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、生徒の学力向上に向けて、本事業を推進していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 400

事務事業名称	小・中学校運営事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部			課	教育指導課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2009(H21)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	教職員			
	サブターゲット	枚方市立小・中学校の児童・生徒			
	ターゲットが抱える課題	各要領で求められている教育、クラブ活動及び部活動について、円滑に運営を図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	小学校学習指導要領・中学校学習指導要領で求められている教育が円滑に推進できるとともに、小学校クラブ活動・中学校部活動等、小・中学校において必要な経費が適正に管理、運用されている状態。				
事業概要	小・中学校の運営経費を適正に管理することで、教育課程に沿って円滑に学校運営に資することを目的として、教員用の教科書及び指導書の購入、修学旅行、校外学習等の教育活動に要する教職員等の入場料・見学科等を支出する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)											
		実績											
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	3.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.70
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	2.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	26,714	25,780	27,633		
	会計年度任用職員	22,065	18,117	5,837		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	76		
	人件費計	48,778	43,897	33,546		
歳入	物件費計	64,470	18,422	21,622	27,149	79.6%
	歳出計	113,248	62,319	55,168		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	35	289	312	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	35	289	312	
一般財源（物件費に充当されるもの）		64,470	18,387	21,333	26,837	

5. 総括的分析

総括的分析	小・中学校運営において必要とする予算の確保及び執行等の適正な事務処理により、円滑な学校運営に資することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	円滑な小・中学校運営に向けて、引き続き、適時、適正な予算の確保及び支出等、所要の事務を執行していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 401

事務事業名称	小中一貫教育推進事業											
測定年度	2023 (R5) 年度			部	学校教育部			課	教育指導課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち										
	実行計画名	16-1.自ら考え生きる力と学力を育む教育の推進										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2016 (H28) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立小中学校に在籍する児童・生徒			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	学習指導要領が求める学力を習得していない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	学習指導要領が求める学力を習得している状態				
事業概要	子どもたちの「確かな学び」と「自立の力」を育み、グローバル時代をたくましく生きぬく子どもを育成するため、各中学校区がそれぞれの現状や課題に応じながら、特色を活かした小中一貫教育を推進する。 ○学力向上の取り組みとして、義務教育9年間を見通した学力向上の取り組みを推進するため、全中学校区に「小中一貫・学力向上推進コーディネーター」を核とした組織体制を確立し、「授業改善」及び「家庭学習の定着」に向けた取り組みの充実を図る。また、全国学力・学習状況調査結果を分析・活用した学力向上プランを作成し、児童・生徒の学力向上に取り組むとともに、小・中学校における学年会や教科会、学力向上委員会を定期的に開催することで、授業研究や教材・教具等の充実を図り、教職員の授業力向上と授業改善に努める。 ○指導体制の充実として、子どもたちの「確かな学び」と「自立の力」を育み、グローバル時代をたくましく生きぬく子どもを育成するため、小学1年生から4年生までは35人学級編制、小学校第5・6学年において、一部教科担任制や習熟度別指導・チームティーチング等の少人数指導、中学校では、習熟度別指導等を含む少人数指導など、児童・生徒の発達段階に応じた指導体制の充実を図る。 ○体力向上の取り組みとして、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果等を分析・活用し作成した体力向上推進計画に基づき、各学校の児童・生徒の実態に合わせた取り組みを授業時間や休憩時間等、学校の教育活動全体で推進する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		児童・生徒の確かな学力の定着が進む。				児童の発達状況を踏まえた効果的な専科指導に向けて、専科教員と学級担任等との協議、検討が行われる。				全中学校区に「小中一貫・学力向上推進コーディネーター」を核とした組織体制を確立するとともに、小学校において、専科指導(特定の教科を特定の教員が専任した指導)を実施する。				
指標設定	指標説明		全国学力・学習状況調査における全国平均正答率から見た本市の平均正答率 【算出式:枚方市の平均正答率／全国平均の平均正答率】				学力向上委員会や教科会、学年会等の開催回数				加配教員(配置定数上乘せ教員)を活用した専科指導実施小学校			
			単位		倍		単位		回		単位		校	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		1.01以上	1.01以上	1.01以上	1.01以上	1,575	1,575	1,540	1,540	20	25	30	35
	実績		0	0.98	1	1.01	1,575	1,575	1,540	1,540	22	26	29	30
	達成度		100%				100%				86%			

ロジックモデル②		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）								
		児童・生徒の確かな学力の定着が進む。				小中一貫・学力向上推進コーディネーターを中心に、生徒の習熟度に応じた授業実施に向けて教科担任等との協議、検討が行われる。				中学校において、少人数指導や専門のコーディネーターの配置など指導体制を充実させるとともに、学力向上に向けた取り組みを実施する。								
指標設定 ②	指標説明		全国学力・学習状況調査における全国平均正答率から見た本市の平均正答率 【算出式:枚方市の平均正答率／全国平均の平均正答率】				学力向上委員会や教科会、学年会等の開催回数				学力向上に特化したコーディネーターの配置校							
			単位		倍		単位		回		単位		校					
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		
		目標 （見込み）		1.01以上		1.01以上		1.01以上		1.01以上		665		665		665		665
	実績		0		0.98		1.01		1.01		665		665		665		665	
達成度		100%				100%				100%								

3. 人員体制
(人)

	R5実績
正職員	0.25
再任用	0.00
任期付職員	5.00
会計年度任用職員	2.26
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額
(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	26,621	25,462	25,879		
	会計年度任用職員	13,869	13,336	13,744		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	40,490	38,798	39,623		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計		40,490	38,798	39,623		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	概ね計画通りに進捗している。学力向上に特化したコーディネーターを中心に、義務教育9年間を見通した学力向上に向けた取組みの一層の充実を図る必要がある。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、子どもたちの「確かな学力」と「自立した力」を育むために、各中学校区が現状や課題に応じた特色を活かした小中一貫教育を推進していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 402

事務事業名称	コミュニティ・スクール推進事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部			課	教育指導課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち									
	実行計画名		16-2.快適で安心できる学習環境づくり									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2016(H28)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立小学校に在籍する児童			
	サブターゲット	教職員(枚方市立小学校)			
	ターゲットが抱える課題	子どもを取り巻く環境が大きく変化する中、学校現場だけで課題解決できない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	学校運営に地域住民や保護者が参画する体制が構築できた状態				
事業概要	枚方市教育振興基本計画の基本方策6「社会に開かれた学校づくりの推進」のため、コミュニティ・スクールを設置し、地域全体で教育に取り組む体制を構築する。保護者や地域住民等から構成され、学校運営や運営への必要な支援に関して協議する学校運営協議会をすべての小学校に設置する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)								
		地域とともにある学校づくりが推進される。				地域全体で教育に取り組む体制が構築される。				コミュニティ・スクールを設置する。								
指標設定	指標説明		「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人の協働による活動を行いましたか」に対する肯定的回答(4段階中4及び3)の割合 【算出式: 肯定的回答／回答者総数＊100】				学校運営協議会開催回数				コミュニティ・スクールの設置校数							
			単位		%				単位		回				単位		校	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値			R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5			
		目標 (見込み)		100	100	100	100	135	135	132	132	45	45	44	44			
		実績		89	96	100	100	119	135	132	132	45	45	44	44			
	達成度		100%				100%				100%							

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.36
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	149.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,357	3,515	2,842		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	2,015	1,871	1,743		
	人件費計	4,372	5,386	4,585		
	物件費計	230	272	318	440	72.3%
歳出計		4,602	5,658	4,903		
歳入	国庫支出金	41	22	73	73	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	41	22	73	73	
一般財源（物件費に充当されるもの）		189	250	245	367	

5. 総括的分析

総括的分析	概ね計画通りに進捗している。社会に開かれた学校の実現のため、各校区で取り組みが進められている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	各校区で行われる学校運営協議会の質の向上を図り、さらなる社会に開かれた学校づくりを目指していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 403

事務事業名称	学校園活性化事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部			課	教育指導課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1998(H10)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	教職員(枚方市立学校園)			
	サブターゲット	枚方市立学校園に在籍、在園する園児、児童、生徒			
	ターゲットが抱える課題	教育現場における諸課題の解決や授業改善等が進まず、学校運営に支障を来している。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	教職員の資質向上及び授業改善等が図られ、学習指導要領等が求める教育課程を着実に執行できる状態				
事業概要	全学校園を学校園活性化推進校園として指定し、教育課題の解決や教職員の資質向上を図るため、校(園)内研修の充実を進めるとともに、年1回以上教職員対象の公開授業を実施し、授業改善等の取り組みを推進する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		教職員の資質向上及び授業改善等につながる。	教職員間で教育課題の共有がなされ、解決手法等に関する検討を行う。	公開授業を実施する
指標設定	指標説明	研究成果を上げた学校園の割合 【算出式:成果を上げた学校園数／全学校園数*100】	公開研究授業の参加教員人数	外部講師を招聘した公開研究授業及び校内研修の実施回数
		単位 %	単位 人	単位 回
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	100 100 100 100	7,000 7,000 7,000 7,000	200 200 200 200
	実績	100 100 100 100	5,165 8,259 9,075 11,272	193 279 286 345
達成度		100%	161%	173%

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.13
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.60
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,743	9,843	8,921		
	会計年度任用職員	7,472	5,605	6,046		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	17,214	15,448	14,967		
歳入	物件費計	14,385	13,525	15,632	24,877	62.8%
	歳出計	31,599	28,973	30,599		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		14,385	13,525	15,632	24,877	

5. 総括的分析

総括的分析	コロナ禍による規制が解除され、各学校園が外部講師を招聘する公開研究や校内研修を活発に実施している。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	来年度は、外部講師を招聘する公開研究等を共有サーバーに加え、まなVIVAにも掲載し、公開授業の参加人数をさらに伸ばしていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 420

事務事業名称	「まなびング」サポート事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	学校教育部		課	教育指導課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち								
	実行計画名	16-1.自ら考え生きる力と学力を育む教育の推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2003 (H15) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立小中学校に在籍する児童、生徒			
	サブターゲット	教職員(枚方市立小中学校)			
	ターゲットが抱える課題	学習指導要領が求める学力を習得していない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	小・中学校学習指導要領で求められている学校教育を円滑に推進できる状態				
事業概要	小・中学校において、授業や放課後の時間に、教員を志望する大学生等を学習指導のサポーターとして配置し、児童・生徒の学習活動を支援する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		支援によって、児童・生徒の学力向上につながる。				教職を志望する大学生等が、授業や放課後に児童・生徒の学習活動を支援する。				小中学校において、「まなびング」サポート事業を実施する。			
指標設定	指標説明	全国学力・学習状況調査における全国平均正答率から見た本市の平均正答率 【算出式:枚方市の平均正答率／全国平均の平均正答率】				大学生等の参加人数				小中学校「まなびング」サポート事業実施校数			
	単位		倍		単位		人		単位		校		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	1.01以上	1.01以上	1.01以上	1.01以上	96	96	96	96	64	64	63
	実績	—	0.98	0.99	1	92	118	91	150	38	41	40	49
	達成度	99%				156%				78%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.13
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

4. 決算額				(千円)			
			R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,436	2,031	1,026		
		会計年度任用職員	0	204	214		
		特別職非常勤	0	0	0		
		附属機関委員	0	0	0		
		人件費計	2,436	2,235	1,240		
	物件費計		1,105	1,130	1,121	1,420	78.9%
歳出計		3,541	3,365	2,361			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,105	1,130	1,121	1,420		

5. 総括的分析

総括的分析	大学生等参加人数・実施校数ともに増加している。年間、100回以上活用を計画し活用する学校もあり、需要は高い。 全国学力・学習状況調査における全国平均正答率から見た本市の平均正答率は上昇しており、当該事業がその一助になったものと受け止めている。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	サポーターの確保に努めながら、例年どおり、全校実施に向けて取組みを継続する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 421

事務事業名称	学校支援社会人等指導者活用事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部			課	教育指導課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2000 (H12) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立学校園に在籍、在園する園児、児童、生徒			
	サブターゲット	教職員 (枚方市立学校園)			
	ターゲットが抱える課題	園児・児童・生徒の学習意欲や情操教育が育めていない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	幼稚園教育要領及び小・中学校学習指導要領で求められている学校教育を円滑に推進できる状態				
事業概要	各教科の指導補助、総合的な学習の時間、特別活動など優れた知識や技能を有する多様な人材を学校教育に活用することで、学校園と地域の連携を深め、幼児・児童・生徒の学習意欲の向上など、教育活動を活性化させる。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		幼児・児童・生徒が多様な人材と触れ合うことで、幅広い興味が呼び起され、指導要領等で求められている学校教育の円滑な実施につながる。				優れた知識や技能を有する多様な人材が幼児・児童・生徒に関わる。				総合的な学習や特別活動などにおいて、学校支援社会人等指導者を活用した事業を実施する。				
指標設定	指標説明	学校支援社会人等指導者を派遣した回数				学校支援社会人等指導者活用した学校園数				学校支援社会人等指導者登録者数				
	単位		回		単位		校		単位		人			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	1,700	1,700	1,700	1,700	71	70	69	69	110	110	110	110
		実績	1,074	1,431	1,653.5	1,623	49	55	65	66	272	205	211	264
達成度		95%				96%				240%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.22
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,435	2,031	1,737		
	会計年度任用職員	56	510	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,491	2,541	1,737		
歳入	物件費計	3,695	4,253	2,926	3,890	75.2%
	歳出計	6,186	6,794	4,663		
	国庫支出金	0	1,167	1,136	810	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	1,167	1,136	810	
一般財源（物件費に充当されるもの）		3,695	3,086	1,790	3,080	

5. 総括的分析

総括的分析	本事業は、各学校の方針や実情等に応じて地域人材を活用しており、令和5年度においても相当数の活動が実施されたことから、児童・生徒の経験や情操等に寄与できている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	指導者確保に努めながら、例年どおり、全校活用に向けて取組みを継続する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 423

事務事業名称	部活動指導協力者派遣事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部			課	教育指導課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち									
	実行計画名	16-2.快適で安心できる学習環境づくり									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1995 (H7) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	教職員(枚方市立中学校)			
	サブターゲット	枚方市立中学校に在籍する生徒			
	ターゲットが抱える課題	顧問教員の負担が大きく、授業等に支障が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	顧問教員における授業等に割く時間の確保及び部活動の効果的かつ効率的な運営ができる状態				
事業概要	部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の時間的余裕を生み生徒指導や授業研究の時間を確保するため、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		顧問教員の負担が軽減され、生み出された時間をもって生徒指導等に充てる。	顧問教員が協力者と分担して、部活動を指導することができる。	中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣する。
指標設定	指標説明	顧問教員負担軽減時間数(=部活動指導協力者活動時間数)	1校あたりの部活動指導協力者活用日数	部活動指導協力者の派遣回数
		単位 時間	単位 日	単位 回
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	588 594 600 604	294 297 300 302	5,600 5,650 5,700 5,750
		実績	472 470 512 544	236 235 255 272
		達成度	90%	90%

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.37
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.30
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,121	2,890	2,921		
	会計年度任用職員	56	510	642		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,177	3,400	3,563		
歳入	物件費計	11,464	12,424	13,179	16,919	77.9%
	歳出計	13,641	15,824	16,742		
	国庫支出金	0	3,145	3,593	2,563	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	3,145	3,593	2,563	
一般財源（物件費に充当されるもの）		11,464	9,279	9,586	14,356	

5. 総括的分析

総括的分析	各学校の実情を踏まえて派遣回数を割当し、部活動指導協力者を相当回数派遣することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、顧問教員の負担軽減に向けて、本事業の活用を推進していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 425

事務事業名称	枚方市小学生スポーツCarnival事業												
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部			課	教育指導課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1998(H10)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内の公・私立小学校の児童			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	他校児童とスポーツを通して接する機会が少ない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	イベント参加を通じて、他校児童との交流及びスポーツへの興味・関心を持ち自ら運動をする状態				
事業概要	市内公・私立小学校の児童が競技を通して交流を図り、スポーツをする喜びを感じてもらうとともに、児童の体力の向上を図るため、枚方市小学生スポーツCarnivalを実施する。 令和4年度から小学生陸上競技大会及び小学生駅伝競走大会を統合し、児童の参加条件撤廃及び競技種目を柔軟化した枚方市小学生スポーツCarnivalを実施することとした。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）				
		イベント参加児童がスポーツにより興味・関心を持ち、自ら運動をする。				小学校1年生から6年生が大会に参加する。				枚方市小学生スポーツCarnivalを開催する。				
指標設定	指標説明	小学生スポーツCarnival参加児童がスポーツにより興味を持ったと思う保護者の割合 【算出式】肯定的回答／回答総数×100				小学生スポーツCarnivalの参加人数				小学生スポーツCarnivalの開催回数				
	単位		%		単位		人		単位		回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 （見込み）	-	-	60	60	-	-	405	756	-	-	1	1
		実績	-	-	58	65	-	-	363	308	-	-	1	1
達成度		108%				41%				100%				

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		イベント参加児童がスポーツにより興味・関心を持ち、自ら運動をする。	小学校5・6年生が大会に参加する。				小学生陸上競技大会・小学生駅伝競走大会を開催する。			
指標設定②	指標説明	小学生スポーツCarnival参加児童がスポーツにより興味を持ったと思う保護者の割合 【算出式】肯定的回答／回答総数×100	両大会に対するのべ参加人数				両大会に対するのべ参加校数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値									
	達成度	108%	-				-			

3. 人員体制
(人)

	R5実績
正職員	0.37
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額
(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	471	2,578	2,921		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	471	2,578	2,921		
歳入	物件費計	458	2,753	3,709	3,091	120.0%
	歳出計	929	5,331	6,630		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		458	2,753	3,709	3,091	

5. 総括的分析

総括的分析	陸上競技を中心とした陸上教室と各種目体験に全小学校から児童308名の自主参加と、同会場で開催していたレクリエーションスポーツに触れられるスポーツ体験会にのべ643人の自主参加があり、スポーツに関心を持ち自ら運動するきっかけとなる場として一定の成果が得られた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和5年度の成果等を踏まえて、より多くの児童が参加・交流ができ、スポーツに関心を持ち自ら運動するきっかけとなる事業となるよう、定員及び実施競技の拡大等を図る。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 537

事務事業名称	海外友好都市教育交流事業												
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部			課	教育指導課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち										
	実行計画名		19-3.国際化施策の推進										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1986(S61)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立小中学校園に在籍する幼児・児童・生徒			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	全世界的な広い視野を持った思考や理解ができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	海外友好都市の同世代の子どもたちとの交流により、愛国心や隣人理解、世界平和を願う心が育成される状態				
事業概要	学校園において、上海市長寧区等の幼小中学校との文通や書画等の作品交流を実施することにより、次世代を担う子どもたちの、郷土や自国を愛し、隣人を理解し、世界平和を願う心を育成する。 ◆中国上海市等の海外の学校園との文通や書画交換等の友好交流を行う。 ◆友好交流締結校: 山田中と天山中、西長尾小と天山新村第一小、高陵幼と愚園路第一幼 ◆友好交流校: 菅原東小と霊巖郡鳩林初等学校、第四中と西延安中、長尾小と江蘇路第五小				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		言語や文化の異なる世界との接触を介して、愛国心や隣人理解につながる。				作品等を通じて、海外友好都市の同世代の子どもたちにふれあう。				本市学校園と海外友好都市学校園との間で文通や書画等の作品交流を実施する。			
指標設定	指標説明	作品展の入場者数				交流を行った作品数				実施校園数			
	単位		人		単位		点		単位		学校園		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	500	500	500	500	200	200	200	200	71	70	69
	実績	0	0	1,473	1,950	195	0	308	286	28	0	45	39
達成度		390%				143%				57%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.01
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	471	859	790		
	会計年度任用職員	0	20	21		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	471	879	811		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計		471	879	811		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	中央図書館において、上海市長寧区児童書画展を開催し、多くの市民に見てもらえたことで、日中友好の一助になっているものと考えている。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	日中両国の友好関係の発展を促進し、枚方市と長寧区の友好関係を更に深め、二つの地域の友好交流活動を積極的に推進するために、引き続き本事業は継続していくものとする。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 669

事務事業名称	学校版環境マネジメントシステム事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	学校教育部			課	教育指導課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち							
	施策目標		27.地球温暖化対策に取り組むまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2005(H17)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立学校園に在園、在籍する園児、児童、生徒			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	環境保全に対する意識が希薄である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	園児・児童・生徒に、地球環境の保全をベースにした日常生活における行動態様が身に付いた状態				
事業概要	学校園において、教職員が率先して、学校園事務及び教育活動から生じる環境への影響を把握し、その改善や保全のための目的・目標を定め、実行し、その結果を点検し、定期的に見直すなど、PDCAサイクルを活用した枚方市独自の学校版環境マネジメントシステムを運用し、幼児・児童・生徒及び教職員の環境に対する意識の向上を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			幼児・児童・生徒等が学校における省エネルギー・光熱水の使用量の削減等を意識した行動を取るようになる。				学校版環境マネジメントシステムの運用を行う。			
指標設定	指標説明		二酸化炭素排出量が昨年度と比べて減った学校園数				運用実施校			
				単位	学校園			単位	学校園	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		25	30	30	35	71	70	69	69
	実績		-	17	40	27	71	70	69	69
達成度			77%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.11
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

4. 決算額			(千円)				
			R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,493	1,484	868		
		会計年度任用職員	0	0	0		
		特別職非常勤	0	0	0		
		附属機関委員	0	0	0		
		人件費計	1,493	1,484	868		
	物件費計		0	0	0	0	
歳出計		1,493	1,484	868			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）			0	0	0	0	

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。

5. 総括的分析

総括的分析	コロナ禍の影響もなくなったものの、引き続き、教室内の換気の徹底などの対応を実施したことにより電気使用量、ガス使用量、上水道使用量が増加し、二酸化炭素量の抑制がほとんどの学校で実施できていない。教職員向けにS-EMS事業の取組みについてオンデマンド配信を実施し、意識の向上を図った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	S-EMS事業に関する年度末の表彰校の取組みを全校に発信するなどして事業を推進していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 901

事務事業名称	教育指導課運営事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	学校教育部			課	教育指導課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間		年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁等				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	教育指導課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に行われている。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)											
		実績											
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.59
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.27
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	12,807	20,311	20,448		
	会計年度任用職員	557	490	578		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	13,364	20,801	21,026		
	物件費計	383	190	140	86	162.8%
歳出計		13,747	20,991	21,166		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	200	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	200	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		183	190	140	86	

5. 総括的分析

総括的分析	当課所管事務事業が支障なく執行できるよう、所要の付随事務及び庶務的事務等を適正に執行したことにより、円滑な組織（課）運営が確保できた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、適正な事務分担や事務の効率化等を行いながら、円滑化な組織（課）運営に努める。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 970

事務事業名称	中学校部活動地域連携事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	学校教育部		課	教育指導課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	○	R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	R4年度(2022年度)	年度	～	年度まで	
根拠法令等	学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立中学校在籍生徒			
	サブターゲット	教員			
	ターゲットが抱える課題	枚方市立中学校在籍生徒の減少に伴う部活動数の減少			
	ターゲットが抱える課題	部活動顧問教員へ過大な負担が生じている状態			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市立中学校在籍生徒が興味を持つスポーツや文化活動に係る地域クラブ等に参加、活動できる環境を創設することで、当該生徒が幅広いスポーツ・文化活動に親しむことのできる機会の確保、部活動顧問教員の負担軽減等が図れた状態。				
事業概要	スポーツ庁及び文化庁において策定された「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を踏まえて、外部委員で構成する懇話会や庁内委員会における協議、検討及び学校内外における部活動の試行実施等を行い、本市の実情に添った「ひらかたモデル」としての中学校部活動方針を改訂し、順次、地域連携を進める。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		参加生徒の満足度				休日の地域クラブ活動に生徒が参加する。				休日において外部指導員等の指導により地域クラブ活動を実施する。			
指標設定	指標説明	参加生徒の満足度				休日の地域クラブ活動への参加生徒数				休日において外部指導員等の指導により実施した地域クラブ活動数			
				単位	%			単位	人			単位	%
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	-	0	75	-	-	0	10	-	-	0	1
	実績	-	-	0	96	-	-	0	64	-	-	0	6
達成度		128%				640%				600%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.95
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

4. 決算額			(千円)				
			R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	0	0	7,500		
		会計年度任用職員	0	0	0		
		特別職非常勤	0	0	0		
		附属機関委員	0	0	0		
		人件費計	0	0	7,500		
	物件費計		0	0	439	1,654	26.5%
歳出計		0	0	7,939			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金		0	0	177	202	
	受益者負担（使用料、手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	177	202	
一般財源（物件費に充当されるもの）			0	0	262	1,452	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度は枚方市中学校部活動の在り方懇話会を設置し、意見聴取を行いながら、庁内委員会で協議し、取組みを進めた。また、令和6年1月から3月に市内3大学と連携し、大学の6クラブに中学生が活動に参加する形での試行実施を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	引き続き、枚方市中学校部活動の在り方懇話会での意見聴取、庁内委員会での協議を行いながら、中学校内外での試行実施、及び部活動指導員の雇用・派遣等を拡充させていく。